

## シソ（甲斐市八幡地区）

### 1 地域の概要・栽培の歴史

甲斐市八幡地区では、古くから養蚕、水稲、麦を中心とした農業経営が営まれていたが、麦価、繭価の低迷から、次第に野菜、水稲の複合経営へと切り換えられ、定着してきた。

シソの栽培は、昭和40年代後半頃に水田の裏作として開始され、主に、梅漬け加工に向けた出荷が行われるようになった。



### 2 セールスポイント

シソは、シソ科に属する植物で、日本で一番親しまれているハーブといってもよく、薬味や色づけに欠かせない。また、シソの葉は鉄分の含有量が多く、香気成分（ペリラルデヒド）には殺菌・防腐作用とともに、食欲増進・整腸・解毒作用などの効果がある。

### 3 出荷時期

5月下旬～7月上旬

### 4 問い合わせ先

問い合わせ：J A 中巨摩東部営農経済部【Tel：055-279-7211】